

PRESS RELEASE

「イーストスプリング米国小型厳選バリュー株ファンド
Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)」を設定

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO 関崎 司)は3月17日に「イーストスプリング米国小型厳選バリュー株ファンド Aコース(為替ヘッジあり)」ならびに「イーストスプリング米国小型厳選バリュー株ファンド Bコース(為替ヘッジなし)」(以下、「当ファンド」)の届出を行いました。当ファンドの設定日は4月20日の予定です。



<当ファンド販売用資料表紙>

当ファンドは、主として米国の金融商品取引所に上場されている(上場予定を含みます)小型株に実質的に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。運用にあたるのは当社の米国におけるグループ会社で、長期的かつ堅実な視点が求められる保険資金の運用において定評のある、ピーピーエム アメリカ インク(拠点: 米国シカゴ)です。

米国においては2016年半ば以降、製造業から非製造業にわたる幅広い産業分野で景況感の改善が鮮明となっています^{*1}。注目された政権交代も、雇用確保や消費拡大などの同国国内を重視した政策転換への期待感に繋がっており、こうした米国の経済成長への期待の高まりはグローバルな資産運用の観点からも好材料と考えられます。一方で、米国における今後の金利上昇の可能性など投資環境の変化を受けて、日本の投資家も資産配分の見直しなどの対応を求められています。

日本国内の投資信託市場と米国株式市場との関係に目を向けると、現在、グローバル株式型、米国REIT型、その他テーマ型ファンドなどを通じて米国への投資が行われていますが、日本国内の追加型株式投信(除くETF)の内、米国株式型ファンドのシェアではおよそ2%^{*2}と、グローバル市場における米国株式市場の重要性と比較して著しく低い状況です。

米国株式市場における投資機会、特に国内景気の恩恵を受けやすい米国企業への投資機会を的確かつ広範に捉える資産運用の選択肢の充実が求められる中、弊社では、お客様の資産形成に資する、質の高い運用商品の選択肢をご提供することが重要であると考えております。この度、投資家の皆様のニーズにお応えするべく、主に米国の小型株銘柄を投資対象とし、現地の運用会社による質の高い運用を提供する商品の開発を行い、当ファンドの設定に至りました。

【当ファンドの三つの特徴・魅力】

① 実績のある現地の運用会社

米国小型株を調査対象としているアナリスト数は大型株と比較して少ないため^{*3}、有望銘柄への投資機会が見出されていない可能性があります。当ファンドでは、この分野において1994年以来20年以上の運用実績のある現地の運用会社、ピーピーエム アメリカ

EastSpring Investments Limited
Marunouchi Park Building, 2-6-1 Marunouchi
Chiyoda-ku, Tokyo 100-6905
www.eastspring.co.jp

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
〒100-6905 東京都千代田区丸の内 2-6-1
丸の内パークビルディング
www.eastspring.co.jp

インクにより、小型株銘柄の中から、業界内での競争力、財務基盤、経営の質などを分析することで企業価値（本源的価値）を評価し、現状の株価が大きく割安と判断される銘柄を厳選し投資します。想定されるポートフォリオ構成銘柄数は 45 から 55 程度としており、比較的少数の銘柄に集中投資します。

② 米国内需の高まりによる恩恵が期待される米国小型株

米国小型株の銘柄には国内景気の恩恵を受けやすい企業が多く、国内事業比率が相対的に高いことが特徴です。グローバルにおけるビジネス環境の不透明性が増す一方、米国経済が内需を中心として堅調と想定される局面では、大型株よりも高い成長が期待されます。また、過去の金利上昇局面では、米国小型株は、大型株を上回るパフォーマンスをあげる傾向が見られることも大きな特徴です。

③ 選択可能な「為替ヘッジあり」、「為替ヘッジなし」の二つのコース

外貨建資産への投資にあたって対円での為替ヘッジを行う「A コース」、為替ヘッジを行わない「B コース」を、投資家の皆様のニーズに応じてご提供いたします。

【ピーピーエム アメリカ インクについて】

当ファンドの運用を担当するピーピーエム アメリカ インク (PPM America Inc) は、イーストスプリング・インベストメンツ・グループが所属する英国プルデンシャル社（以下、「最終親会社」）*が米国にて展開する資産運用会社です。1990 年にシカゴで設立し、2016 年 6 月末時点の資産運用額は約 1,114 億米ドル（約 11 兆円、1米ドル=102.91 円）、約 120 名の運用プロフェッショナルを含む約 240 名が日々業務にあたっています。株式運用に関してはバリュー投資のスタイルで高い評価を受けており、米国小型株式の運用戦略においても、1994 年 3 月の運用開始以来、良好な実績を残してきました。

* イーストスプリング・インベストメンツおよび最終親会社は、主に米国で事業を展開しているプルデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

PPMAによる類似運用戦略と米国の小型株・大型株指数の推移（期間：1994年3月末～2017年1月末）

当ファンドの類似運用戦略である「米国小型株バリュー戦略」は、中長期的に米国の代表的な株価指数を大きく上回る実績となっています。



上記「米国小型株バリュー戦略（類似運用戦略）」は、当ファンドと同一の投資戦略および運用プロセスに従って、PPMA が運用する米国小型株バリュー・コンポジットの実績です。※上記は類似運用戦略の過去の実績を示したものであり、類似運用戦略ならびに当ファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。出所：PPMA、Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。米国小型株バリュー戦略は運用報酬等コスト控除前、米ドルベース。米国小型株指数：ラッセル 2000 指数（配当込み、米ドルベース）、米国大型株指数：S&P500（配当込み、米ドルベース）を使用。

弊社代表取締役社長兼 CEO である関崎 司は、次のように述べています。「当ファンドはイーストスプリング・インベストメンツが所属する最終親会社グループの欧州、米国、アジアに運用拠点を構える組織力、情報収集力を結集して誕生したファンドです。昨今の市場の先行き不透明感により、資産運用における分散投資の重要性が高まる中、多くの投資家の皆様のポートフォリオの一助としてご活用いただくことを願っております。」

弊社ではグループのグローバルネットワークを最大限に活用して、引き続き日本の投資家の皆様の中長期的な資産形成に貢献できるよう、邁進してまいります。

以上

出所:

※1 Bloomberg L.P.等各種報道、及び Institute for Supply Management のデータに基づく。(2016年12月
末時点)

※2 Lipper のデータを元に、イーストスプリング・インベストメンツ算出。(2017年1月末時点)

※3 Bloomberg L.P.に株価見通し情報を提供しているアナリスト数に基づく。(2016年12月末時点)

【イーストスプリング・インベストメンツについて】

イーストスプリング・インベストメンツは、世界有数の金融サービスグループを展開する最終親会社のアジアにおける資産運用事業部門です。イーストスプリング・インベストメンツは 2016 年 6 月末時点で約 1,049 億ポンド (約 14 兆円、1 ポンド=138.41 円)の運用資産を有するアジア最大級の資産運用会社であり、最終親会社は 165 年以上の歴史を有し、英国、米国、アジアなど世界各国で金融サービス業務を提供しています。

イーストスプリング・インベストメンツは日本をはじめシンガポール、香港、韓国、インドネシア、マレーシア、台湾、ベトナム、ルクセンブルグ、米国、英国で資産運用事業を展開し、さらに中国、インド、香港では合弁事業を行っています。現在では 13 のマーケットで資産運用事業を展開しています。

【イーストスプリング・インベストメンツ株式会社 会社概要】

- ◆ 設立: 1999年12月
- ◆ 資本金: 6億4,950万円
- ◆ 住所: 東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング
- ◆ 登録番号: 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第379号
- ◆ 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
- ◆ ホームページ: <http://www.eastspring.co.jp/>
- ◆ 運用資産残高: 約1兆33億円(2016年12月末時点)

【本プレスリリースに関して】

※当資料は、報道関係の皆様に向けて作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。 ※当資料は、投資勧誘を目的とするものではありません。

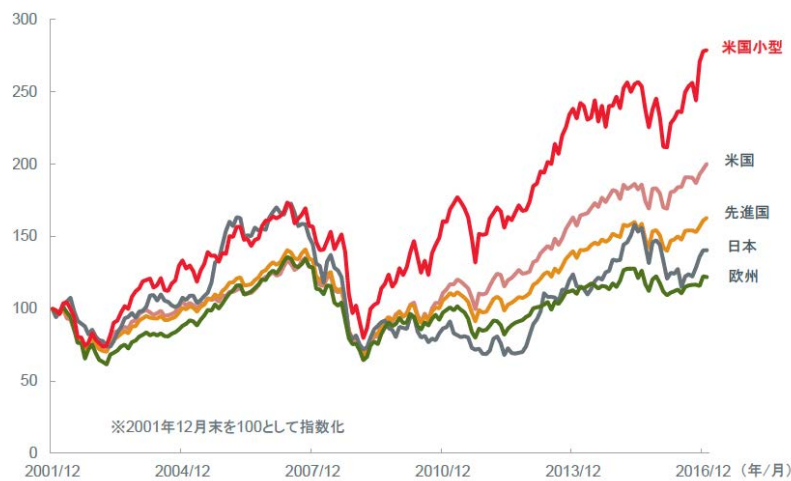
<ご参考資料>

1. 長期にわたり良好なパフォーマンスを示す米国小型株

▶ 2002年以降の推移を見ると、米国小型株のパフォーマンスは各国・地域の株式指数を相対的に上回っています。

各国・地域の株式指数の推移
(2001年12月末～2017年1月末)

大統領選挙後の騰落率
(2016年11月8日～2017年1月31日)



出所: Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

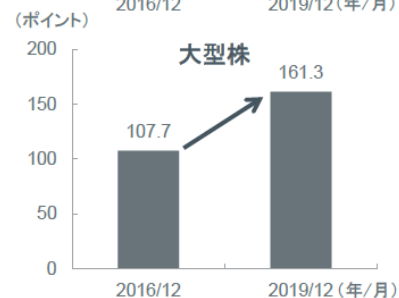
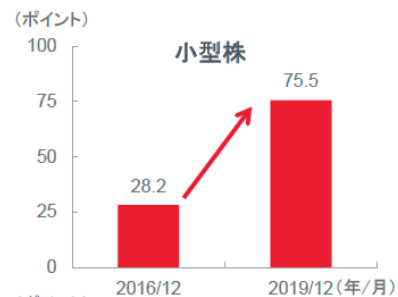
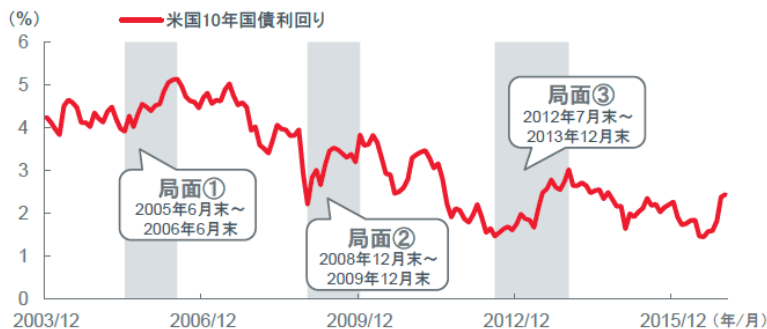
※ 各国・地域の株式指数はプライスリターン、現地通貨ベース。米国小型はラッセル 2000 指数、米国は MSCI 米国、日本は MSCI 日本、先進国は MSCI ワールド、欧州は MSCI ヨーロッパを使用。

2. 米国小型株の魅力

- ▶ 米国景気の拡大により、米連邦準備制度理事会 (FRB) による利上げの可能性が高まっています。米国の長期金利が大幅に上昇した過去 3 回の局面で、米国の小型株は大型株を上回るリターンを達成しました。
- ▶ 米国小型株は、国内事業比率が相対的に高く、国内景気の恩恵を受けやすいため、1 株当たり利益 (EPS) で見ると今後 2 年程度は、大型株よりも高い成長が予想されています。

米国 10 年国債利回りと米国株式の期間収益率
(2003 年 12 月～2016 年 12 月)

米国小型株および大型株の EPS 成長予想
(2016 年 12 月、2019 年 12 月予想値)



出所: Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※ 小型株はラッセル 2000 指数、大型株は S&P500 を使用。米国株式の期間収益率は配当込み、米ドルベースを使用。EPS は個別の構成銘柄の EPS を加重平均して指数化したもの。EPS 予想は 2017 年 2 月 23 日時点。

<当資料で使用されている指数について>

MSCI 指数は MSCI Inc. が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利は MSCI Inc. に帰属します。また MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

ラッセル・インデックスはラッセル社が公表する指数です。ラッセル 2000 指数は、米国市場の時価総額上位 3,000 社のうち、下位 2,000 社で構成される代表的な米国小型株指数です。ラッセル・インデックスはラッセル・インベストメント・グループが開発した指数であり、著作権等の知的財産その他一切の権利はラッセル・インベストメント・グループに帰属します。ラッセル・インベストメント・グループは、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。